

第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 成果指標の達成状況  
基本目標①やっていたい仕事ができるまち

※ 達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満  
※ 削減目標★：◎…0%以下、○…40%以下、△…80%以下、×…80%を超える（マイナス値であれば目標達成）

※フィルターを使用しないでください。

No	基本施策	具体的施策	事業名	事業分類	事業概要	成果指標											達成度 (R3) ◎◎◎◎◎	成果指標 達成状況 (R3)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容	所管課	
						成果指標	平成30年度⇒ 令和6年度						年度（令和）								
							目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					目標値
1	(1) 活力ある農林水産業の振興	②農林水産業の経営体制の強化	スマート農業実証事業	A2	環境統合制御装置や茶園スプリンクラー制御の実証ほの設置、アシストスーツや農業用ドローンの導入を支援し、地域に合ったスマート農業の確立・普及を図る。	スマート農業普及率(耕種)	0%⇒20%	1	0.9	3	5.8	5	8.6	10	15	20%	172.0%	◎	・実証現地検討会での結果報告や個別説明、市ホームページ等を通じてスマート農業の効果やメリットを農家に伝えている。 ・導入希望農家に対しては、機器導入支援事業（市単独）で補助している。	農政課	
2	(1) 活力ある農林水産業の振興	②農林水産業の経営体制の強化	漁業付加価値向上対策事業	A1	JAXA（宇宙航空研究開発機構）による種子島周辺漁業対策事業を利用し、餌料(餌)増産及び水産物加工経路確保の確保（更新）に対して助成を行う。そのことにより、鹿屋市漁業協同組合の経営安定を図る。	漁業水揚量	4,200,000kg⇒ 4,210,000kg	4,201,500	3,877,269	4,203,000	3,091,685	4,204,500	4,592,720	4,206,500	4,206,000	4,210,000	109.2%	◎	引き続き補助率の高い種子島周辺対策事業を活用し、漁業生産に必要な施設の整備を優先的に進めて行っている。	林務水産課	
3	(1) 活力ある農林水産業の振興	②農林水産業の経営体制の強化	畜産経営活性化対策事業	A2	新たな経営形態の創出と基本に立ち付けた専門員の指導に基づき、経営の向上と更なる生活基盤の拡大を図り、畜産経営の活性化を図る。	中核農家（20頭以上）割合（全892戸中）	19%⇒23.6%	20	20.5	21	23.7	21.5	26	22	22.5	23.6%	120.9%	◎	経営体の高齢化による継ぎが進む中、若い手、後継者の確保を行いながら、経営基盤の強化を継続的に進めていく。 ※若い手確保事業、研修制度の利用（最長2年間）、経営開始資金（上限100万円）	畜産課	
4	(1) 活力ある農林水産業の振興	②農林水産業の経営体制の強化	価格補償対策事業	A2	吾平地域における指定野菜（春・秋かぼちゃ）の生産拡大と銘柄確立を図るため、鹿屋市、計付吾平助産協、指定野菜生産農家が共同して基金を造成し、生産費補償による経営安定を図る。	指定野菜の作付け面積	10,48ha⇒11,00ha	10	10.33	10	9.65	10.3	9	10.50ha	10.80ha	11,00ha	87.4%	○	・小玉品種への取り組み（労働力軽減） ・かぼちゃ以外の既存農家に吾平町技術会で作付推進（定期会合時の声掛け等）を実施	吾平産業建設課	
5	(1) 活力ある農林水産業の振興	⑤生産基盤の強化による生産性の向上	『かのやや牛』生産力強化事業	A2	肉用牛の飼育頭数維持と安定的な経営のため、肉用牛舎整備に対して補助を行う。また、肉用牛繁殖経営の効率化と省力化のため、次世代経営技術（ICT）の機器導入に対しても補助を行うことでスマート農業を推進する。	中核農家（20頭以上）割合（全892戸中）	19%⇒23.6%	-	-	21	23.7	21.5	26	22	22.5	23.6%	120.9%	◎	・牛舎整備、ICT機器導入に補助を行い、規模拡大、肉用牛経営の効率化の省力化を進めていく。補助については、毎年、希望調査を行い農家のニーズに応じた支援に努めている。	畜産課	
6	(1) 活力ある農林水産業の振興	⑥高付加価値化と販路開拓・拡大	かのやや・農商社推進事業（地域6次産業化推進事業）	A2	6次産業化を推進するとともに、各種相談支援や関係機関と連携した各種施策・事業を実施することにより、本市の地域特性である第一次産業を基軸とした産業振興を図り、また、新商品開発の促進、講演会及びセミナー等の開催、大瀬加工技術センターを活用した加工セミナーを開催するなど、高付加価値化と販路開拓・拡大を推進する。	6次産業化総合事業計画認定事業者	5者⇒8者	5	5	5	5	6	5	7	8	8者	83.3%	○	・市内事業者（1者）が、令和4年度内に新たに6次産業化総合事業計画認定を受けて取り組んでいる。市は、認定手続きのフォローを行っている。	産業振興課	
7	(1) 活力ある農林水産業の振興	⑦農地の有効利用の促進	農地流動化地域総合推進事業（共通）	A3	農地中間管理事業を推進し、担い手農家への農地の集約化や農業経営の規模の拡大等により農用地の利用の効率化及び農業生産性の向上を図る。	遊休農地面積	★304ha⇒194ha	304	376	280	409	250	380	220	194	194ha	52.0%	△	・農業委員、推進委員毎に個別の数値目標を設定し、目標達成に向けて活動している。遊休農地の解消には、利用種設定による耕作が必要であることから、利用斡旋なども行っている。	農業委員会	
8	(1) 活力ある農林水産業の振興	⑨鳥獣被害対策の充実	鳥獣被害総合対策事業	A2	農業経営の安定を図るため、電気柵、ワイヤーメッシュ柵等の導入防止柵を設置し、イノシシ、サルなどの有害鳥獣による農作物被害を防止する。また、鳥獣被害対策システムクラウドを活用し、鳥獣による農作物被害状況を損発会と共有することで、より効果的な鳥獣対策を実施する。	被害額の抑制	★8,607千円⇒4,302千円	5,269	6,419	7,746	8,099	6,864	7,023	6,023千円	5,161千円	4,302千円	2.3%	○	・国庫補助を活用した農地への鳥獣侵入防止柵整備事業を要望し、R4年度は受益面積56.26haの整備を実施する予定。	林務水産課	
9	(1) 活力ある農林水産業の振興	⑩まもり・育てる林業の推進	特用林産物事業	A3	特用林産物（枝物）の生産拡大のため、生産組合の新植を支援し、生産基盤の整備や担い手の育成・確保を図る。	枝物作付面積	19ha⇒19ha	19	11	19	14.4	19	17.2	19ha	19ha	19ha	90.5%	○	・枝物生産組合2団体から要望を受けており、計画的な生産拡大のための生産基盤整備の支援を行う。	林務水産課	
10	(2) 商工業の振興と雇用の促進	①中小企業等の振興	かのやや・農商社推進事業【再掲】（地域6次産業化推進事業【再掲】）	A1	鹿屋市産業支援センターをはじめとする、商工団体や金融機関など市内創業支援機関、かこしま産業支援センターと連携を図り、起業、創業等に対する支援を推進する。	創業支援等事業による創業者	41件⇒50件	50	38	50	28	50	45	50	50	50件	90.0%	○	・鹿屋商工会議所、かのやや商工会と連携した創業者向けの創業塾等を開催し、創業しやすい環境を整備している。 ・創業塾：かのやや商工会（R3～） ・創業塾：鹿屋商工会議所（R4～）	産業振興課	
11	(2) 商工業の振興と雇用の促進	①中小企業等の振興	商工業活性化推進事業	A3	中小企業の成長支援、経営支援を行い、小規模事業者の経営の安定化を図る。また、商工会議所及び商工会と連携した販路開拓等の取組を支援し、本市中小企業の振興及び健全な発展に資する。	小規模事業者数	3,742事業所 ⇒ 3,742事業所※現状維持	3,742	3,704	3,742	3,707	3,742	3,753	3,742	3,742	3,742事業所	100.3%	◎	・新型コロナウイルスの影響を受けている中小企業に対し、商工会議所及び商工会と連携した支援事業を実施している。	商工振興課	
12	(2) 商工業の振興と雇用の促進	②商店街の活性化	商工業活性化推進事業（商店街活性化推進事業）【再掲】	A3	市内の各地域の商店街等がイベント事業等を行い、商店街地区への集客及び組織活動の強化を図り、商店街や地域の活性化を図る。	地域イベント等参加人数	96,700人 ⇒ 110,000人	110,000	112,700	110,000	30	110,000	550	110,000	110,000	110,000	0.5%	×	・新型コロナウイルスの影響により中止してきたイベント等について、感染防止対策を徹底した上で開催方法について検討する。	商工振興課	
13	(2) 商工業の振興と雇用の促進	③企業誘致等の推進	企業誘致・サポート推進事業	A2	企業進出・立地に向けた取組を推進するとともに、サテライトオフィスを誘致するためのモデル事業を実施することで、地域内における若者を含めた雇用機会の創出や定住促進につなげる。	立地協定締結件数	5件(各年度)	5	5	5	1	5	3	5	5	5件	60.0%	○	・企業誘致サポート制度をR3年度に創設しており、企業誘致サポートを活用した企業情報収集の体制強化を行っている。 ※企業誘致サポート：9人	産業振興課	
14	(2) 商工業の振興と雇用の促進	④就業の支援	地元就職支援事業	A3	新規学卒者やUターン希望者の地元への就職率を高め、人手不足に困窮する地元企業への就職率を高めることで、定住人口の増加と将来的な産業の活性化を図る。	事業後の雇用マッチング数	22人 ⇒ 30人	30	13	30	0	30	2	30	30	30人	6.7%	×	○求人情報発信支援事業補助の実施 新規事業として市内事業者の就職情報サイトへ求人情報を掲載する費用に対し2/3補助する制度を開始し、求人情報発信及びマッチングを強化した。	商工振興課	

第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 成果指標の達成状況  
基本目標2についても訪れやすいまち

※ 達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満  
※ 削減目標★：◎…0%以下、○…40%以下、△…80%以下、×…80%を超える（マイナス値であれば目標達成）

No	基本施策	具体的施策	事業名	事業分類	事業概要	成果指標											達成度 (R3) ※◎○△×	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容	所 管 課	
						成果指標	平成30年度⇒ 令和6年度						年 度 (令和)							
							元 目標値	実績値	2 目標値	実績値	3 目標値	実績値	4 目標値	5 目標値	6 目標値					
1	(1) 地域資源を生かした観光の推進	②魅力ある観光地の形成	霧島ヶ丘公園施設整備事業	A3	公園施設の年次的な改修・修繕を行い、利用者が安全で安心して利用できるよう、施設の適切な維持・管理に努める。	公園利用者数	244,715人 ⇒ 297,800人	245,800	220,323	247,000	136,609	248,160	219,879	270,030A	284,050A	297,800A	88.6%	○	1年中を通して、いずれかの草花が開花している状態を年々工夫している。	都市政策課
2	(1) 地域資源を生かした観光の推進	②魅力ある観光地の形成	かのやばら園施設整備事業	A3	来園者の満足度向上を図るため、施設の年次的な改修・修繕を行うとともに、魅せるばら園整備を行い、来園者の増加に努める。	ばら園入園者数	91,105人 ⇒ 120,000人	110,000	81,465	112,000	74,805	114,000	55,675	116,000A	118,000A	120,000A	48.8%	△	旅行者への営業訪問やマリノポートかごしまと鹿屋港を結ぶ不定期航路を活用した団体ツアーを実施する旅行者への補助など団体客の誘致強化を図り、来園者の増に努めている。	都市政策課
3	(1) 地域資源を生かした観光の推進	②魅力ある観光地の形成	ばらを生かしたまちづくり推進事業	A3	鹿屋の地域資源である「ばら」や「かのやばら園」の魅力を最大限に生かし、地域活性化を図る。	ばら園入園者数	91,105人 ⇒ 120,000人	110,000	81,465	112,000	74,805	114,000	55,675	116,000A	118,000A	120,000A	48.8%	△	来園者に対して、検査、消毒、入園申込書への記載、定期的な園内の消毒を実施するなど、感染症対策を徹底したうえで、春のばら祭りを開催。新たな「ばらを活かしたまちづくり計画」の策定に着手。	都市政策課
4	(1) 地域資源を生かした観光の推進	③多様な地域資源を生かしたツーリズムの推進	観光PR誘客推進事業【再掲】	A1	鹿屋市観光基本計画に基づき、各種事業を展開し、地域経済の活性化につなげていく。 グリーンツーリズムや教育旅行、登山・トレッキング、戦争遺跡など、本市の自然や食など様々な観光素材に加え、薩川の海・内之浦宇宙空間観測所など大隅半島の観光地を絡めたPRを旅行エージェントや旅行者等に行うとともに、観光物産フェア等の実施やSNSの活用などにより情報発信を強化し、本市の認知度向上と、外国人を含む県内外からの観光客の増加を図る。	入込客数	1,407千人 ⇒ 1,500千人	1,500,000	1,538,034	1,500,000	892,356	1,600,000	832,345	1,500FA	1,500FA	1,500FA	55.5%	△	マイクロツーリズムの推進のための、体験メニュー等のタリフ化し、タリフを活用した営業活動、各種媒体を活用したプロモーション活動を行った。	ふるさとPR課
5	(1) 地域資源を生かした観光の推進	④観光分野における広域・官民連携の強化	「大隅はひとつ!」大隅広域観光推進プロジェクト事業	A2	大隅地域の広域観光を推進していくため、各市町が有する地域資源を有機的に連携する組織体制を構築し、観光客の観光ニーズへの対応や、域内の回遊性・滞在型観光の向上促進、域内経済効果の拡大を図る。 観光客が観光地づくりに推進し、官民一体となった大隅広域観光の充実を図る。	大隅地域延べ宿泊者数	497,753人 ⇒ 450,000人	441,000	494,329	450,000	339,335	450,000	450,479	450,000A	450,000A	450,000A	100.1%	◎	マイクロツーリズムの推進のための、大隅4市5町の体験メニュー等のタリフ化し、タリフを活用した営業活動、各種媒体を活用したプロモーション活動を行った。	ふるさとPR課
6	(1) 地域資源を生かした観光の推進	④観光分野における広域・官民連携の強化	観光・物産地連携推進事業	A3	本市の観光資源（観光、産業等）を活用し総合的にプロデュースする組織の育成及び観光・物産・ツーリズムそれぞれの事業を展開することにより、地域活性化を図る。また、本市の地域資源を活用した効果的な情報発信を行い、誘客促進を図る。	物産センター訪問者数	48,399人 ⇒ 63,000人	50,000	48,706	52,500	27,240	55,000	31,233	57,500A	60,000A	63,000A	56.8%	△	観光協会ECサイトの強化や着地型旅行造成のための、地域限定旅行業の資格取得、教育旅行受入のための新規受入家庭の開拓した。 (25軒の確保)	ふるさとPR課
7	(1) 地域資源を生かした観光の推進	⑤関係人口の増加につながる施策の展開	ふるさとPR促進事業	A3	ふるさと納税制度を通じて、本市の特産品等を全国に発信し、地域の産業振興・活性化に資することにも、同制度を基盤とした「ふるさと会」との連携及び「かのやメンバーズクラブ」と展開することで、本市のさらなる認知度向上と寄附金の増額につなげる。 本市のシティセールス指針に基づき、全庁的なイメージ戦略の情報共有を図るとともに本市の認知度向上につながる取組を実施する。	寄附件数	77,486件 ⇒ 100,000件	100,000	134,851	100,000	135,926	100,000	154,762	100,000B	100,000B	100,000B	154.8%	◎	・8月から一部を除きサイト運営をPR株式会社へ委託し、掲載販売品数の増加や魅せるページ作りを改善している。 ・本市の知名度を露出させ、寄附申込に誘導するため、サイト内広告を強化している。	ふるさとPR課
						かのやメンバーズクラブ会員	8,891人 ⇒ 18,000人	10,000	15,654	16,000	19,004	16,500	19,827	17,000A	17,500A	18,000A	120.2%	◎	・メール会員に対し、定期的に返礼品や地元事業者の情報等を提供している。 ・メンバーズクラブの活用方法について、検討しているため、目標設定はしない。	
8	(2) スポーツによる交流の推進	①スポーツ合宿・大会の推進	スポーツ合宿まちづくり推進事業	A1	鹿屋体育大学と連携したトップアスリートの自主トレ誘致、社会人や学生等のスポーツ合宿誘致に取り組むため、官民連携によるスポーツコミッションを核とした誘致活動、受入環境の整備を行う。	スポーツ合宿者数	18,878人 ⇒ 25,000人	20,000	20,357	21,000	3,193	22,000	10,027	23,000	24,000	25,000A	45.6%	△	スポーツコミッションと連携し、これまでのスポーツ合宿の実績、鹿屋体育大学・競技団体等のネットワークを活用した個別の営業活動を新たに実施している。	市民スポーツ課
9	(2) スポーツによる交流の推進	②自転車によるまちづくりの推進	ホームタウンスポーツ推進事業	A2	トップアスリート（プロ選手）との連携による特色ある地域づくりを推進するため、鹿屋市を拠点とするプロチームの育成とサイクルシティづくりを推進する。	イベント・ツーリズム参加者数	2,669人 ⇒ 2,740人	2,680	1,986	2,692	1,961	2,704	1,786	2,716	2,728	2,740A	66.1%	○	ホームタウンチームとの連携、自転車を快適に利用できる環境整備を行っている。 ※サイクルリフトサポート施設28施設、矢羽根の設置等	市民スポーツ課
10	(2) スポーツによる交流の推進	③ホストタウンの取組	ホストタウン事業	A2	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、地域の活性化等を推進するため、ホストタウン相手国とスポーツ・観光・文化・地域経済の各分野での交流を行う。	ホストタウン交流による参加学校数	毎年2校 ⇒ 4校	4	11	4	4	4	3	4	4	4校	75.0%	○	コロナ禍において、直接交流が制限される中、オンラインを活用して継続した交流を行っている。	地域活力推進課
11	(3) 移住・定住の推進	①移住・定住者への支援体制の充実	定住促進事業	A1	2020年に開設した移住に関するワンストップ窓口である「かのや移住サポートセンター」において、きめ細やかな相談対応やSNS等による移住希望者向けの本市の情報発信、移住体験ツアーの開催、専従の相談員による空き家等バンク事業など、本市への移住・定住の推進に向けた施策を行っている。	相談窓口を経由した移住者数	82人/3年 ⇒ 300人/6年	50	10	50	40	50	29	50	50	50人	58.0%	△	移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）が中心となって本市企業の紹介動画を作成し、移住専用サイトで企業情報とともに掲載する等。移住希望者への仕事に関する情報発信を強化している。 SNSやSMOUT（移住マッチングサイト）で本市に興味を示した者を公式LINEに誘導し、個別に細やかな相談対応をすることで本市に好印象を持ってもらい移住に繋がるよう努めている。	地域活力推進課
						空き家等バンク登録物件数	17軒/年 ⇒ 35軒/年	30	20	30	22	30	29	35	35	35軒	96.7%	○	固定資産税通知書発送時の封筒に記載している空き家等バンク事業案内のフロント等を変更して目につきやすくしたほか、安全安心課が主催する「空き家無料相談会」への参加及び「鹿屋まちゼミ」での空き家等バンク講座の実施により制度の周知及び登録物件数の増加を図っている。	地域活力推進課
						移住相談件数	30件/年 ⇒ 60件/年	60	70	60	140	60	135	60	60	60件	225.0%	◎	SNSで移住支援の内容や空き家等バンク登録物件の紹介、移住相談会開催等の情報発信を強化するとともに、公式LINEでの相談を誘導することで、個別に細やかな対応ができるよう努めている。	地域活力推進課



第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 成果指標の達成状況  
基本目標4未達成につながる住みよいまち

※ 達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満  
※ 削減目標★：◎…0%以下、○…40%以下、△…80%以下、×…80%を超える（マイナス値であれば目標達成）

Table with columns: No, 基本施策, 具体的施策, 事業名, 事業分類, 事業概要, 成果指標, 平成30年度→令和6年度, 年度(令和) (1-6), 達成度(R3), 成果指標達成状況(R3), R3の達成状況を踏まえ改善・強化(工夫)している内容, 所管課

第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 成果指標の達成状況  
基本目標5ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

※ 達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満  
※ 削減目標★：◎…0%以下、○…40%以下、△…80%以下、×…80%を超える（マイナス値であれば目標達成）

Table with 14 rows and multiple columns. Columns include: No, 基本施策, 具体的施策, 事業名, 事業分類, 事業概要, 成果指標 (with sub-columns for 元, 2, 3, 4, 5, 6), 達成度 (R3), R3の達成状況を踏まえ改善・強化(工夫)している内容, 所管課. Rows 1-14 describe various community and social welfare programs.